増設コードレス子機の登録

注意 **増設子機の登録(ID 登録)は、必ず販売店様が行ってください。**

型名　　：BCL-500
対応機種：FAX-790CL、FAX-790CLW、FAX-K80CL

メモ

- 増設登録は、ファクシミリ本体と増設子機で行います。増設登録後、増設子機が使用できます。
- 増設子機は、ID登録の前にバッテリーを収納して15時間以上充電してください。(取扱説明書参照)
- ２台以上の増設子機を増設登録する場合は、１台ずつ登録してください。
- FAX-K80CL に増設した場合、子機間通話ボタンは受話音量ボタンとなります。

子機への ID 表記

増設した子機には、必ず親機(ファクシミリ本体)の ID 番号を表記してください。

1. 親機のID番号を付属子機のID番号シールに記入します。

2. バッテリーカバーの内側に貼り付けます。

内線番号について

増設登録後に、付属の子機判別シールを貼り付けてください。

親機		コードレス子機			
		1台目	2台目	3台目	4台目
※上記のイラストは FAX-790CL/CLW です。		ファクシミリに付属	増設	増設	増設
内線番号	0	1	2	3	4

子機判別シール

※ FAX-790CLW の場合は、３台目、または４台目の増設となります。

LE5727001
Printed in Japan

販売店様用

増設子機の登録(ID登録)のしかた

注意 ID登録をする前に、子機はあらかじめ充電しておいてください。

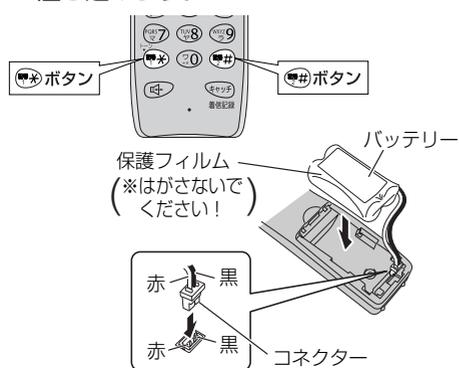
例)内線番号2番に登録します。

1. 親機(ファクシミリ本体)の操作パネル上のボタンを次の順に2秒以内に押します。

記号2 → ♫保留/子機

親機のディスプレイに［ｿﾞｳｾﾂﾓｰﾄﾞ］と表示され、子機増設モードになります。(*1)

2. 新しく増設する子機のバッテリーを準備します。

3. 増設する子機の 記号1＊ 記号2＃ を同時に押しながら、バッテリーのコネクターを差し込みます。

子機の 外線 が点滅して「ピッ」という音が鳴り、ディスプレイに［ｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ］と表示され、子機増設モードになります。

4. 親機のダイヤルボタン 2 を押します。(*2)

親機のディスプレイに[2]と表示されます。

5. 4秒以内に増設子機のダイヤルボタン 2 を押します。

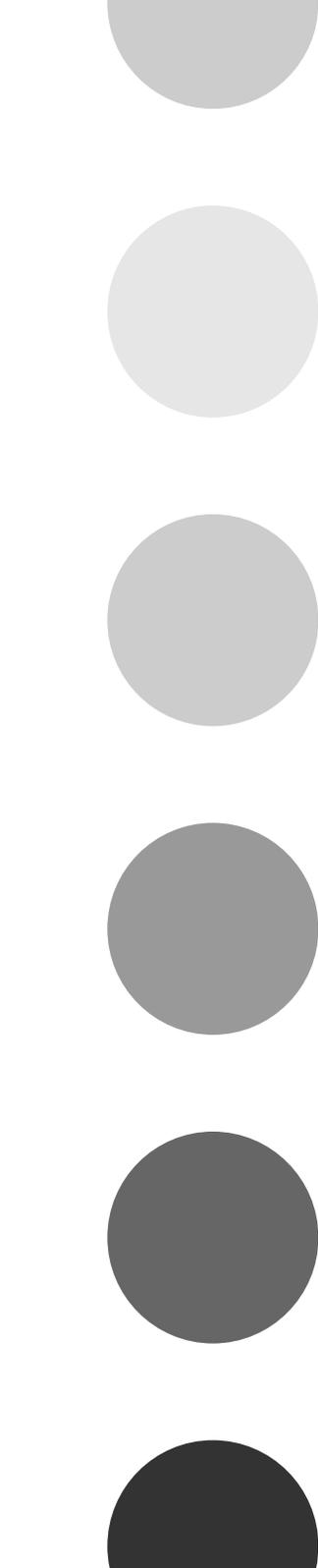
・子機増設が正しく完了したときは、子機から「ピー」という受付音が鳴り、ディスプレイに［ｿﾞｳｾﾂ ｶﾝﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ ｺｷ2］と2秒間表示されます。
　親機のディスプレイは［ｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ］に戻ります。
・続けて子機を増設したい場合は、手順2〜5を繰り返してください。
・子機増設が正しく出来なかったときは、子機から「ピピピピピ」という音が鳴ります。この時は［ｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ］が解除されるので、もう一度手順2からやり直してください。

6. 親機の 停止 を押します。

子機増設が終了し、待機状態に戻ります。

メモ

*1 ディスプレイが［ｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ］にならなかった場合は、停止 を押し、もう一度操作し直してください。

*2 手順4から4秒以内に手順5の操作を行わなかった場合、親機は［ｿﾞｳｾﾂ ﾓｰﾄﾞ］に戻ります。もう一度手順2からやり直してください。

増設コードレス子機
取扱説明書

BCL-500

お客様相談窓口　0120-161170

本製品の取扱い・操作・アフターサービスについてのご相談は、上記お客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

受付時間　　午前9：00～午後7：00

営業日　　　月曜日～土曜日

（日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。）

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

目次

安全にお使いいただくために

このたびはFAX-790CL/790CLW/K80CL用増設コードレス子機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や第三者への危害や財産への傷害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をお使いください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

⃠記号は「してはいけないこと(禁止)」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。(左の例は分解禁止を意味しています。)

●記号は「しなければならないこと(指示)」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。(左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。)

「してはいけないこと」を示しています。

「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。

「分解してはいけないこと」を示しています。

「水場で使ってはいけないこと」を示しています。

「電源プラグを抜くこと」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口 0120-161170」までご連絡ください。
- お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた傷害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用の誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたときや、故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

＊取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

設置、配線についてのご注意

・風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所には設置しないでください。
・故障や変形、火災の原因となります。

・ACアダプターを抜くときは、コードを引っぱらないでください。
・ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電ややけどの原因となります。
・たこ足配線はしないでください。ACアダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。火災の原因となります。

・バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
・バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
・専用の充電器を使用してください。
・国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。
・電源はAC100V50Hz、または60Hzでご使用ください。それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

・直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所
・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

・調理台のそばなど、油飛びや湯気のあたる場所

・ACアダプターはコンセントに確実に差し込んでください。(本機には電源スイッチが付いていません。)

・雷がはげしいときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。(ACアダプターは抜きやすい所に差し込んでください。)

•本機をお使いいただける環境は次のとおりです。
温度:5～35℃
湿度:45～80%

•以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。
・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
・いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所
・クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

使用する際のご注意

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

警告

・分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。(法律で罰せられることがあります。)

・充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。

・煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

・本機を落としたり、キャビネットを破損したときは、AC アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

・異物が入ったときは、ACアダプターやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。

バッテリーについて

警告

・液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

・分解、改造をしないでください。
・バッテリー端子をショートさせないでください。
・コードの被覆や保護フィルムをはがしたり、傷をつけたりしないでください。

・バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。
・バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
・温度の高いところでは充電しないでください。
・金属製品と一緒に保管しないでください。
・バッテリーの極性（＋／－）を間違えないように入れてください。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

その他のご注意

注意

・火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。

・子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。

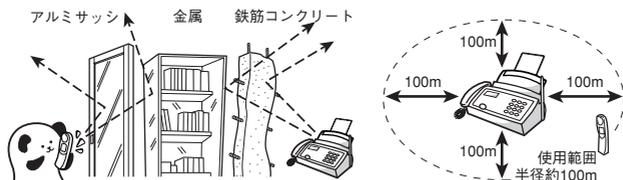
・長期間不在にするときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

・待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。

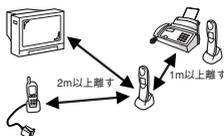
・落下、衝撃を与えないでください。
・動作中に AC アダプターを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
・室内温度を急激に変えないでください。装置内部が結露するおそれがあります。
・指定以外の部品は使用しないでください。

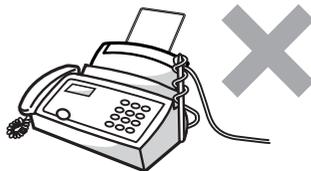
子機の設置、使用範囲を確かめる

設置について（※下記のイラストはFAX-790CL/CLWです。）

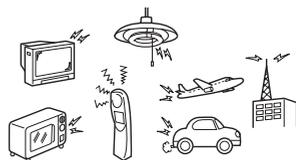
●親機から障害物のない直線距離で約100m以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉･家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。
※親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

●本機に他社の子機を増設することはできません。

子機が正常に動作しないことがあります

●親機、子機を電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン、携帯電話やPHSの充電器やACアダプターなど）から2m以上離して設置してください。
●子機は親機や他の子機から1m以上離して設置してください。

通話が途切れたり、雑音が入る場合について

●電源コード、電話器コード、充電器のACアダプターコードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりしているときは、子機の呼出音が鳴らなかったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。

●移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

●ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話器を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

●以下のような場合は雑音が入ることがあります。
･電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン、携帯電話やPHSの充電器やACアダプターなど）の近くに設置しているとき
･放送局、高圧線などが近くにあるとき
･自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき
･蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
･子機のACアダプターと携帯電話やPHSのACアダプターを同じコンセントに接続しているとき

●親機のアンテナを完全にのばしてください。電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。

●受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。

故障ではありません

●電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

“傍受”にご注意ください

●この製品には、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。コードレス子機を使っての通話は電波を使っているので、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

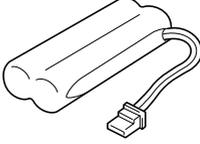
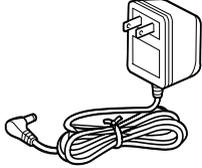
“傍受”とは

●無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

ご使用の前に

付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口　0120-161170」にご連絡ください。

子機 1台	子機充電器 1台	子機用バッテリー 1個	子機用ACアダプター 1個
壁掛け用木ネジ 2本	子機用バッテリーカバー 1個	取扱説明書(保証書は取扱説明書に印刷されています。)	
子機 ID シール	子機判別シール	販売店 ID 登録方法説明書	

仕様

	コードレス子機	充電器
使用可能距離	見通し距離約 100m	―
充電完了時間	約 15 時間	―
使用可能時間 (充電完了後)	待機状態：約 110 時間 連続通話：約 6 時間	―
使用環境	温度：5 ～ 35℃ 湿度：45 ～ 80%	
電源	DC2.4V(ニカド電池使用)	AC100 ± 10V　50/60Hz
消費電力	―	2W(充電時)
外形寸法	42.8(横幅)× 37.1(奥行き)× 182.1 (高さ)mm	67(横幅)× 100(奥行き)× 111(高さ)mm
質量	約 150g(ニカド電池含む)	約 106g

● (子機間通話ボタン)は、増設する機種によって機能がかわります。
- ・FAX-790CL/CLW のとき　：子機間通話ボタン
- ・FAX-K80CL のとき　：受話音量ボタン

※ FAX-K80CL には、子機間通話機能はありません。

各部の名称とはたらき

※詳しい操作方法は、ファクシミリ本体の取扱説明書を参照してください。

本体

スピーカーと受話口

着信音や相手の声が聞こえます。

子機間通話ボタン※

子機同士で通話するときに押します。

※FAX-K80CLに増設した場合は「受話音量ボタン」としてお使いいただけます。

再ダイヤル/P/文字切替ボタン

最後にかけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。

外線	電話をかけるときに押します。
内線/クリア 保留	外線を保留にするとき、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。
切	電話を切るときに押します。充電中は点灯しています。

トーンボタン

ダイヤル回線のとき一時的にプッシュホンサービスを利用するときに押します。

スピーカーホンボタン

子機を持たずに通話するときに押します。

保守用端子

保守用の端子です。さわらないでください。

ディスプレイ

操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

マルチセレクトボタン

ディスプレイの項目を選択するとき、電話帳を表示するとき、文字入力でカーソルを動かしたり、音量を調整するときに使用します。

機能／確定ボタン

機能を設定するとき、設定内容を決定するときに押します。

ダイヤルボタン

ダイヤルするとき、文字を入力するときに押します。

キャッチボタン

キャッチホンを使うとき、着信記録を表示するときに押します。

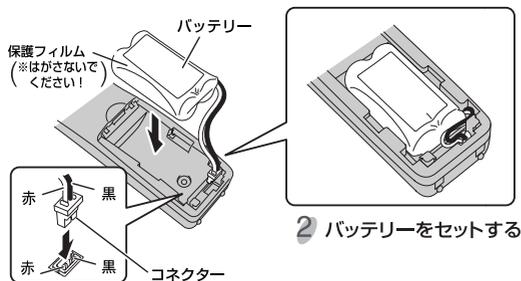
マイク

ディスプレイ

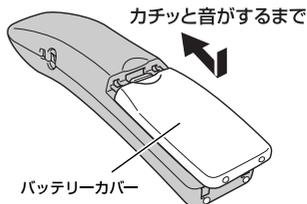
子機を準備する

増設子機を使用するには、増設子機登録（ID登録）が必要です。事前に販売店にて増設子機登録（ID登録）を行ってください。（詳しくは「販売店様用取扱説明書」を参照してください。）

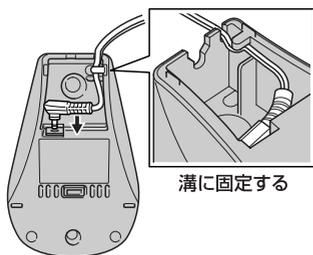
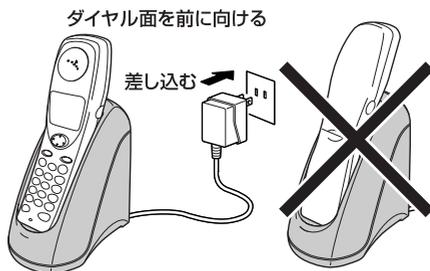
●バッテリーをセットする

●バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。

1 上図の向きにコネクターを差し込む

2 バッテリーをセットする

3 バッテリーコードを押し込みながらカバーを閉める

※バッテリーのコードをはさまないように注意する。

●充電する

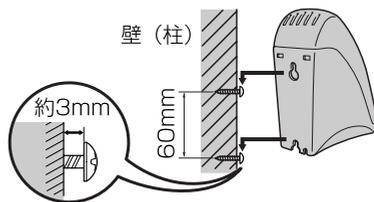
はじめてお使いいただくときは、必ず**15時間以上**充電してください。

1 ACアダプターの電源プラグを充電器に差し込む

2 ACアダプターをコンセントに差し込み、子機をセットする

● 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ジュウデン」と表示され（切）が点灯します。バッテリーの容量が少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジュウデン」と表示されなかったり、（切）が点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
● いっぱいまで充電されても「ジュウデン」の表示や（切）の点灯は消えませんが、そのまま充電を続けても問題はありません。
● 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。詳しくはファクス本体の取扱説明書を参照してください。

● 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート（本体取扱説明書を参照）でお求めください。
● 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

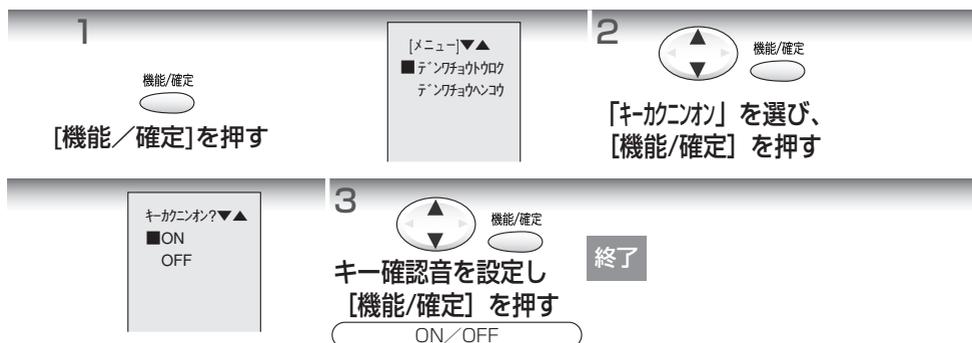
●壁にかけて使用する

付属の壁かけ用木ねじ(2本)を壁か柱に取り付けて充電器をセットしてください。

60mm

音量を設定する

キー確認音、着信音、スピーカー音量、受話音量を調節します。

キー確認音

ダイヤルボタンを押したときの音量を調整します。

着信音量

充電器に置いているとき、または(外線)が消灯しているときに設定することができます。

スピーカー音量

(スピーカーホン)を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

受話音量

通話中に設定できます。

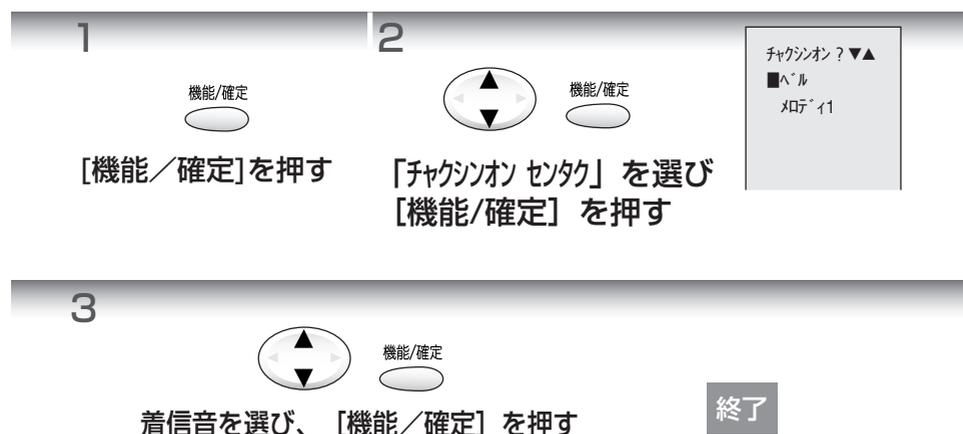
子機のスピーカー音量、受話音量は、聞きとりやすいように大きめに設定してあります。特に３段階目、４段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を２段階目または１段階目に設定してご使用ください。

着信音を設定する

着信したときのベル音(メロディ)を設定します。

3

着信音を選び、［機能／確定］を押す

終了

ベル音／メロディ1～3／曲名
（曲名はFAX-790CL/CLWでダウンロードメロディがあるときのみ表示されます）

- ダウンロードメロディについては、ファクシミリ本体の取扱説明書を参照してください。
- FAX-K80CL に増設した場合は、「ダウンロードメロディ」はご利用できません。

ディスプレイの明るさを設定する

内線番号について

子機からの内線番号のしかた、外線の取り次ぎかたは本体の取扱説明書を参照してください。

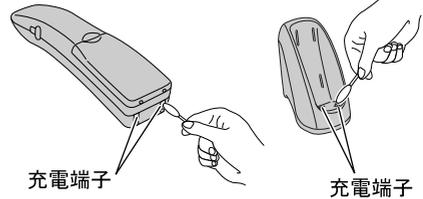
親機		コードレス子機			
※上記のイラストは FAX-790CL/CLW です。		1台目 ファクシミリに付属	2台目 増設	3台目 増設	4台目 増設
内線番号	0	1	2	3	4

※ FAX-790CLW の場合は、3台目または4台目の増設となります。

こんなときは

●ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールは使用したり、アルコールを染み込ませた布で拭いたりしないでください。

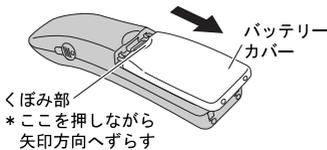
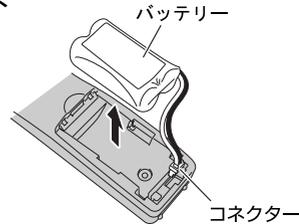
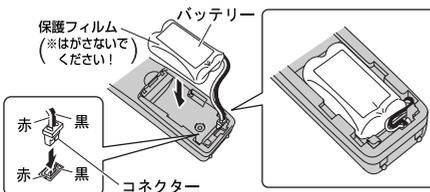
●本機の清掃をするには

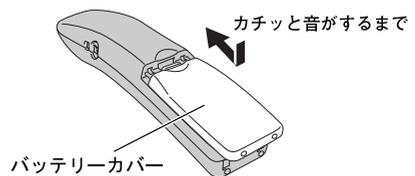
・本体は乾いた布で軽く拭いてください。
・充電端子が汚れていると、充電できなかったり、使用中の状態になったりすることがあります。
・充電端子の汚れは、綿棒などで軽く拭き取ってください。

●バッテリーを交換するには

子機を充電しても使用できる時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。
使用のしかたにもよりますが、約1年が交換時期の目安です。
交換バッテリー(型名：BCL-BT)は、お買い上げの販売店でお買い求めください。

●バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。

2 バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く

3 新しいバッテリーコネクターを差し込む

上の図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

4 バッテリーを子機にセットし、バッテリーカバーをしめる

●バッテリーを交換したら必ず15時間以上充電してください。

●バッテリーにはニカド電池を使用しています。使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますのでニカド電池のリサイクル協力店にお持ちください。

アフターサービスのご案内

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、今後一層安心頂きながらご使用頂けますよう、下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせ等ございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているか等おたずねしますので、あらかじめご確認してください。

お客様窓口　0120-161170

消耗品等のお問い合わせ窓口

ブラザー販売(株)情報機器事業部 ダイレクトクラブ
インターネット　：http://www.brother.co.jp/direct/
住所　：〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL　：(052)824-3097
FAX　：(052)825-0311
フリーダイヤル　：0120-118825
（土・日・祝日、長期休暇を除く、9時～17時）

* 消耗品につきましては、お買い上げの販売店にてお買い求めいただくか、インターネット、お客様ご注文窓口、消耗品オーダーシート（ファクシミリ本体の取扱説明書に記載、またはファクシミリ本体からプリントする）によるFAXなどの方法でご注文いただきますようお願いいたします。

保証書

機種名	BCL-500
保証期間	本体 1 年

本書は、本書記載内容で**無料修理**を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、**お買い上げの販売店または、下記お客様相談窓口**に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
お客様	ご芳名 　　　　　　　　　　様 〒□□□−□□□□ ご住所 電話　　（　　　　）

販売店	住所・店名 　　　　　　　　　　印 電話　　（　　　）

ブラザー工業株式会社
インフォメーション・アンド・
ドキュメント　カンパニー

〒467-0845 名古屋市瑞穂区河岸 1-1-1
電話 :(052)824-2555(代)
お客様相談窓口　0120-161170

保証規定

1）取扱説明書等の注意書に従った正常な状態で、保証期間内に故障した場合は無料で修理します。この場合は、表記の販売店にご依頼ください。
2）保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
・取扱い上の不注意、誤用による故障および損傷
・当社または表記販売店以外による修理・改造による故障および損傷
・火災、天災事変または異常電圧、公害、塩害等による故障および損傷
・油煙、熱、塵、水、直射日光等の劣悪設置環境による場合
・本書のご提示がない場合
・本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き替えられた場合
3）本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4）故障、その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
5）本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only Japan.

修理メモ

＊この保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

LE5726001
Printed in Japan